

安全データシート

作成日 2007年 3月 13日

改訂日 2017年 10月 5日

1. 製品及び会社情報

対象物の名称

製品名	TILWA (ティルワ)
英名	TILWA
社内整理番号	201709A

提供者の情報

製造元

会社名	Turftech International Limited
住所	5 Cable Court, Pittman Way, Fulwood Preston, Lancashire, PR2 9YW, England
電話番号	+44 (0) 1772 704433

輸入元

会社名	東洋グリーン株式会社
住所	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8
電話番号	03-3249-7731
担当	毒物劇物取扱者

用途

本製品は、主に芝生地に用いられる土壌浸透剤 (Wetting Agent) である。

2. 危険有害性の要約

ピクトグラム

なし

注意喚起語

なし

危険有害性

H317	アレルギー反応のおそれ
P264	取扱後はよく手を洗うこと。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P305+351+338	目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

GHSによる危険性・有害性の分類

① 危険性 (16 分類)

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	区分外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	区分外
酸化性固体	分類対象外

有機過酸化物	区分外
金属腐食性物質	区分外
② 有害性 (10 分類)	
急性毒性：経口	区分外
急性毒性：経皮	分類できない
急性毒性：吸入 (気体)	分類できない
急性毒性：吸入 (蒸気)	分類できない
急性毒性：吸入 (粉塵)	区分外
急性毒性：吸入 (ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分 3 H316 軽度の皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性と皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外
③ 環境に対する有害性 (2 分類)	
水生環境急性有害性 (急性)	区分外
水生環境急性有害性 (長期)	区分外

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物	
危険有害性のある成分		
一般名	CAS 番号	含有量
C13 アルコールエトキシレート (成分：H302 飲み込むと有害,H318 重篤な眼の損傷)	9043-30-5	10%未満
C9-11 アルコールエトキシレート (成分：H302 飲み込むと有害,H319 強い眼刺激)	68439-46-3	10%未満
1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン (成分：H302 飲み込むと有害, H315 皮膚刺激, H318 重篤な眼の損傷, H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ, H400 水生生物に強い毒性, H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性)	2634-33-5	1%未満

4. 応急措置

応急措置	
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し安静に努める。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	薬液の付着した衣服・靴を脱ぎ、ただちに石鹼と水で洗浄する。
目に入った場合	清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合、眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口をよくすすぎ、医師の診断を受ける。
症状	
吸入した場合	胸苦しさを伴う喉の炎症、咳き込み、喘鳴が起こることがある。
皮膚に付着した場合	薬液の付着した箇所に炎症、赤みが起こることがある。
目に入った場合	炎症、赤みが起こることがある。
飲み込んだ場合	口と喉にヒリヒリとした痛み、赤みが起こることがある。

5. 火災時の措置

本製品は不燃性である	
消火剤	粉末、泡、砂、二酸化炭素、霧状水。容器冷却には霧状水を使用。
使ってはならない消火剤	棒状水を用いてはならない。（周辺への飛散）
火災時の特定危険有害性	火災時に有害ガスが発生する可能性がある。安全な場所に避難し、消防署に連絡する。
特定の消火方法	漏出した物質や消火剤等が河川等に排出されないように配慮する。消火活動は風上から行う。
消火を行う者の保護	消火作業では適切な保護具（自吸式呼吸具、手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	屋外の場合、風下を避ける。人の立ち入りがある場所では注意事項を掲示し、知識のない者が触れないようにする。
環境に対する注意事項	河川、湖沼、地下水等に流入しないようにする。
除去方法	ウエス、布などに吸着させ回収し、法令に従い処理する。法令に従い処理する。回収後に漏出箇所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	「8. 暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。作業は換気の良い場所で行う。
安全取扱注意事項	吸い込んだり、眼や皮膚、衣服に触れないよう十分注意する。保護衣、保護靴、保護手袋、保護眼鏡等を着用する。作業時は霧状にならないように注意する。
医療機器	容器の再利用は避ける。作業場での飲食、喫煙を避ける。本製品の使用場所には洗眼用機器を用意するのが望ましい
保管	
適切な保管条件	換気の良い室内の冷暗所に、容器を密閉し、凍結を避け保管する。直射日光、熱源を避け、酸化剤、酸、食品と一緒にしない。
適切な保管容器	ポリプロピレン容器、鉄製ドラム缶

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない
厚生労働省告示	設定されていない
曝露防止	換気の良い場所で取り扱う 保管場所の床は薬剤の浸透しないものを用いる
保護具	
呼吸器の保護具	調整時にはマスクを着用する
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	大量に扱う場合には長袖保護衣、保護手袋、保護眼鏡を着用。
適切な衛生対策	取り扱い後は手を良く洗う。汚染した衣服は他のものと別に洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	液体
色	透明
臭い	わずかな臭いあり
pH	およそ 7.0
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	100°C以上
引火点	93°C以上
凝固点	データなし
爆発特性	
爆発限界	上限：設定されていない 下限：設定されていない
比重	およそ 1.00g/cm ³
粘度	わずかに粘性あり
溶解性	
水に対する溶解性	極めて易溶
溶媒に対する溶解性	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
解離定数	データなし
蒸発速度	水と同じ
揮発性有機化合物	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件、輸送条件では安定。
避けるべき条件	高温
避けるべき混合物	強酸化剤、強酸を避ける
危険有害分解生成物	火災の際に有毒ガスを発生するおそれ
他の物質との重合	データなし

11. 有害性情報

急性毒性推定値 (ATE)	製剤 (経口) 成分 (経口)	区分外 C9-11 アルコールエトキシレート LD50 (ラット) 300-2000mg/kg
	製剤 (経皮) 吸入毒性	データなし 喉・胸に刺激、喘鳴のおそれ
局所効果	眼刺激性 皮膚刺激性	区分外 刺激および赤味のおそれ
感作性		データなし
慢性毒性 (最大無作用量)		区分外
発ガン性		区分外
変異原性		区分外
生殖毒性		区分外
特定標的臓器毒性	単回暴露	区分外
特定標的臓器毒性	反復暴露	区分外

12. 環境影響情報

急性毒性	区分外
水性毒性	区分外
移動性	データなし
残留性/分解性	データなし

生態蓄積性：n-オクタノール／水分配係数
生態毒性

データなし
データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄の方法

残余廃棄物

廃棄はなるべく避けるか最小限に留める。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体に委託して処理する。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

該当なし

国連番号

該当なし

国内規制

該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件

「漏出時の措置」の項を参照

「取扱いおよび保管上の注意」の項を参照

梱包毎に漏れのないことを確認し、転倒、落下、摩擦等で包装が破損しないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行い、有蓋車又はシート等を掛けて運搬する。容器の破損、漏れがないことを確かめる。水濡れを避ける。

1 5. 適用法令

肥料取締法

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

毒物および劇物取締法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法

指定化学物質に該当しない

航空法規則

該当しない

危険物船舶運送及び貯蔵規則

該当しない

1 6. その他の情報

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者提供されるものであり、安全を保障するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関するすべての情報が網羅されているわけでは有りません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱いの実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されることをお願い致します。

以上